

正誤表・更新情報

本書中に訂正・更新箇所等がございました。お手数をお掛けしますが、下記ご参照頂けますようお願い申しあげます（2021年8月27日）

■第1版 第1刷（2018年4月 1日発行）～ 第1版 第4刷（2021年8月20日発行）の修正・更新箇所

頁	場所	修正前	修正後	補足	掲載
第1章 検査値の基本 2-4) eGFR（推定糸球体濾過量）					
45	eGFRが基準値より「高」のときの「原因・影響因子」	・骨格筋量の 増加	・骨格筋量の 減少		21/08/27
46	eGFRが高値のときの「病態」2行目	・筋肉量が 増加 し相対的なCrが 上昇 する。	・筋肉量が 減少 し相対的なCrが 下降 する。		21/08/27
46	eGFRが高値のときの「原因・影響因子」2行目	・骨格筋量の 増加	・骨格筋量の 減少		21/08/27
46	「リハスタッフが確認すべきこと」の1行目	・eGFRは骨格筋量 や循環血液量 が 上昇 したときに高値を示す。そのため、四肢周径を測定し、骨格筋量をスクリーニングする。	・eGFRは骨格筋量が 減少 したときに高値を示す。そのため、四肢周径を測定し、骨格筋量をスクリーニングする。 ・eGFRは循環血液量が増加したときに高値を示す。		21/08/27
46	eGFRが低値のときの「症状」3行目	浮腫、 経 静脈怒張	浮腫、 重 静脈怒張		21/08/27